

平成29年度学校自己評価システムシート (県立ふじみ野高等学校)

目指す学校像	学習とスポーツ・文化活動を両立し、地域に元気・感動・夢を発信する学校
--------	------------------------------------

重点目標	1 基礎学力の向上 2 基本的な生活習慣の維持と規範意識の向上 3 進路実績の向上 4 部活動・生徒会活動・ボランティア活動の充実と情報発信
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	4名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年度評価(平成30年2月1日現在)		
年 度 目 標					達成度	次年度への課題と改善策	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況		
1	○現状 89.5%の生徒が授業に意欲的に取り組んでいるが、30分以上家庭学習する生徒は17%である。 ○課題 ・引き続き全教員の共通理解の下進路実現を目指した基礎学力を向上に、主体的に取り組むよう指導を継続する必要がある。	学習に主体的、意欲的に取り組む生徒の育成	①基礎学力の向上に向けた、英検、数検、漢検、家庭科技術検定等の各種検定を実施する。 ②補講や補習を実施する。 ③チャイムトゥチャイムによる授業を徹底する。 ④アクティブラーニング等の手法を取り入れた授業改善、研究協議を実施する。公開授業週間等を活用して授業力を向上する。	①各種検定の実施回数と受験者数・合格者数 ②補講の実施回数と受講者数 ③チャイムトゥチャイムの実施状況 ④アクティブラーニングの実施、授業参観者数、研究授業実施者数等の実施状況	学年・分掌・教科が連携するとともに、各教員が指導を工夫・改善するなどして、生徒が主体的・意欲的に学習に取り組むよう努めた。 ①8種の検定を延べ13回実施した。(合格延べ数67名) ②学年ごとに進学補講を実施した。(1年生7名、2年生9名、3年生29名、合計45名) ③年間を通じて実施した。 ④授業参観期間を1か月に延長し、研究授業をアクティブラーニング4回(授業者4名)、年次研修7回(7名)を実施して参観者数の増加につなげた。	B	①②の周知方法の工夫、進路指導部、担当教科を中心とした組織的な取組になるよう努める。 ③全職員が協力して継続実施できる体制を継承する。 ④期間延長だけでなく、情報交換できるような工夫に努める。
2	○現状 出席状況、身だしなみ、清掃活動、交通マナー等の基本的な生活習慣等は概ね良好である。 ○課題 ・特定の期間における遅刻者数を減らす必要がある。 ・登下校時における車との接触事故が発生しないようにする。 ・進路変更する生徒を減らす。	「時を守り場を清め礼を正す」規範意識の向上と習得に取り組む生徒の育成	①生活指導、交通安全マナーアップ、校内環境美化を徹底する。 ②年を通じて遅刻指導を継続し、特定期間を重点的に指導する。 ③二者面談、三者面談の実施、スクールカウンセラーの活用等の情報共有を積極的に行い、教育相談体制を充実する。	①生徒指導件数、交通事故件数、年3回の部室清掃の実施 ②出席状況(皆勤者数、精勤者数) ③生徒・保護者のアンケートの評価 ④SCの相談件数、個人面談の実施状況 ⑤中途退学者、転学者数	全校体制の下、学年・分掌がきめ細かく指導するなどして生徒の規範意識を高めることができた。 ①生徒指導件数10件・11名(昨年比-4名)交通事故1件、年3回の部室清掃を実施した。 ②出席率98.4%となった。皆勤者数372名(54.1%)、精勤者数52名(7.6%) ③遅刻者数延べ171名限減少した。 ④12月にアンケートを実施した。 ⑤相談・面談件数67回、養護教諭への相談件数24件だった。 ⑥中途退学者4名、転出者2名	A	①②規範意識をさらに向上させるために、きめ細かな生活指導、登校・巡回指導を継続する。 ③回答しやすい様式と回収方法を工夫、検討する。 ④⑤生徒・保護者の精神的なケアを組織的に行うように努める。
3	○現状 生徒の進路希望に応じた3年間を見通した進路指導により、「学校幹旋就職率100%」、「進路決定率97%」と成果を挙げている。 ○課題 ・入学時の生徒一人ひとりが目指す進路実現に伝えるため、さらに進路指導体制を充実する必要がある。	個々の能力適性に応じた進路実現に向けて意欲的に取り組む生徒の育成	①進路に応じた対策講座を展開する。 ②進路情報の提供と各種ガイダンスを充実する。 ③就労体験活動を実施する。 ④保護者対象の進路説明会、進路バス見学会、PTA参加の模擬面接会等を実施して、PTAとの連携を密にする。	①対策講座の実施状況 ②進路未決定者の減少、大学等への進学者数 ③進路関係情報の提供回数ガイダンス等の実施状況 ④参加生徒のアンケート評価 ⑤保護者からの評価	学年・分掌・教科が連携して、能力・適性に応じた進路実現に向けて、生徒が積極的に取り組むよう努めた。 ①個別の面接指導、エントリーシート等の指導を通年実施した。12月末に学校幹旋就職率100%、生徒が希望する上級学校への進学を実現させた。 ②各学年で進路ガイダンス実施した。 ③生徒「充実していた93.7%」、保護者「この体験が必要である95.0%」等、好評だった。 ④進路バス見学会に16名参加した。模擬面接会では、保護者のべ45名、大学等の関係者及び地域住民等約20名が面接官となり協力して御指導いただいた。	A	①②行事の精選を行い、可能な範囲で授業確保に努める。 ③生徒、保護者ともまたやってみよう(やらせたい)と回答していることから、今後も継続していくことを検討する。 ④PTA主催の模擬面接は継続する。
4	○現状 ・多数の部が全国・関東大会に出場するとともに、全体として競技力が向上している。また、文化部は意欲的にボランティア活動をしている。 ・生徒会活動も活発化しており、行事に対する生徒の意識は高まっている。 ○課題 ・競技実績を向上させ主体性を育み、自己肯定感を持たせる。 ・文信部活動を活性化させる。 ・地域の中で生徒が活躍できる場を設け情報を発信していく必要がある。	目標に向かってチャレンジする部活動と生徒会活動等に取り組む生徒の育成	①規模を縮小して埼玉県教育環境基金の本校のプランを実現する。 ②外部指導者を活用するとともに、個に応じて多面的に指導を行い、上部大会に出場させる。 ③生徒の活動をホームページに掲載、一斉メール配信システム等を有効活用する。 ④中学校訪問の実施、各種教育団体等の視察等を積極的に受け入れる。 ⑤交流、ボランティア等、地域における事業に生徒・教員を積極的に派遣する。	①基金の活用を実現 ②部活動実績 ③ホームページの更新回数、アクセス件数、メール配信回数 ④中学校訪問の回数・人数、視察等の状況 ⑤派遣回数と参加生徒数	部顧問・担当教諭等の熱心な指導により、目標達成に向けて積極的に努力する生徒の育成に努めた。 ①基金は次年度に購入、活用する。 ②全国大会出場2部、関東大会出場4部、県ベスト8進出7部など、上位の成績を収めた。 ③ホームページ更新244回(昨年比78回増)、メール配信38件(昨年度比20件増)を実施した。 ④中学校訪問2回(教員延べ201人)、他県視察2回を実施した。 ⑤例年の活動に加え、新規にふじみ野市や文京学院大学との連携事業に積極的に参加するなどした。派遣回数28件、生徒数539名、職員66名を派遣した。	A	①埼玉県教育環境基金を有効活用する。 ②継続して全国大会や関東大会に出場できるよう、部活動の充実を図る。 ③④⑤学校からの情報発信を積極的に行う。中学校訪問、ボランティア活動を充実させる。また、入試倍率を1.1倍以上確保できるように生徒募集活動を工夫・改善する。

学校関係者評価	実施日 平成30年2月13日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>アクティブラーニング等の手法を取り入れた授業を行い、授業改善に取り組んでいる。また、大多数の生徒が意欲的に授業に取り組んでいる。</p> <p>各種検定を組織的に取り組むことで、学習意欲向上や基礎学力の定着につなげてもらいたい。定期考査前にきちんと家庭学習する生徒が増えてきているので、意識の高い生徒を伸ばす指導も期待している。</p> <p>読解力を身に付け多くの本を読む必要があると考えるので図書館利用を更に活性化するとともに、朝読書等を検討してはどうか。</p> <p>アンケートから生徒と教職員、保護者と学校との信頼関係が構築されていることが伺え、非常に嬉しく思う。今後も継続していきけるよう努力してもらいたい。</p> <p>進路変更をする生徒を減らすためには学校について十分理解してもらう必要があるため、学校説明会の回数、時期や方法を工夫する必要があるのではないか。</p> <p>就労体験活動は、生徒・保護者から必要性等で高い評価を得ている。また、生徒の進路意識の向上や社会性の向上等、とても意義ある活動であるとともに、地域との密接な連携にも繋がっていることから、今後も是非継続してもらいたい。</p> <p>進路意識が高まってきているので、希望する上級学校に進学できるように補講等を学校全体で取り組むなど、個別指導を充実してもらいたい。また、PTA主催の模擬面接は今後も継続してもらいたい。</p> <p>部活動や生徒会活動への満足度が高く、生徒が充実感を感じながら学校生活を送っていることが伺える。</p> <p>部活動の競技実績向上のために専門性の高い練習方法等を取り入れるなど、さらに工夫してもらいたい。限られた時間の中で練習をするので、競技力を向上するための基礎的な知識や理論を練習内容等に取り入れたらどうか。</p> <p>ボランティア活動等を積極的に行うために、生徒が主体的に学校全体を巻き込んで取り組んでいくことを期待する。</p> <p>部活動、生徒会活動やボランティア活動を通じて、将来必要とされるコミュニケーションスキルを高めてもらいたい。</p>